

第3学年 社会科学習指導案（略案）

陸前高田市立高田第一中学校
教諭 高橋 和恵

1 単元名 終章 私たちにできること ～持続可能な未来へ～

2 単元について

本単元は、3年間の社会科学習のまとめとして、よりよい社会を築いていくためにはどうしたらよいかについて、3年間で培った社会的な見方・考え方を働かせて考察し、自分の考えをまとめていく単元である。

そこで、持続可能な社会を築くためには、まずは持続可能な地域社会からという視点から、郷土の復興を通して、その方法について考える。その際、生徒に親しみが郷土の「七夕祭り」を中心に展開する。国際的な課題と地域社会の課題を関連づけ、私たちにできることを追求することで、身近な活動が持続可能な未来を築く一歩になることに気付かせ、主体的な社会参画へとつなげたい。その際、SDGsの17の目標とDiversity&Inclusionという視点から、望ましい生き方や社会参画の在り方を模索させる。また、持続的な七夕祭りを考える際には、エシカル消費や地産地消、食品ロスの削減などとも関連させ、安心・安全で豊に暮らす社会の実現のために、望ましい経済活動や消費行動のあり方について主体的に判断する力を育てたい。

3 本時の学習

(1) 目標

持続可能な未来を築くための、七夕祭りの在り方について、多面的・多角的に考察し、表現できる。

(2) 展開 (2時間扱い)

| | 学習活動 | 指導上の留意点（●評価場面） |
|-----------|--|---|
| 導入 15分 | <p>1 課題の設定</p> <p>(1) 既習事項の想起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消や・エシカル消費の意義 ・市のめざす姿：SDGs未来都市・ノーマライゼーションという言葉の知らない町 <p>(2) 資料から、陸前高田の未来について考える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習と関連づけ、意欲を高める。 <p>資料1：「被災地を歩く」R2、2、24 岩手日報 資料2：七夕の映像</p> |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 持続可能な未来を築くために、持続可能な七夕祭りのあり方を考え、提案する。 </div> | |
| 展開 70分 | <p>2 現行の七夕祭りの課題を確認する。</p> <p>3 七夕祭りの改善策について考える。</p> <p>(1) グループで話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案を実行に当たったの良い点を、様々な視点から考える (2) 他のグループを参考に考えを深める。 ・他のグループの案の意図をつかみ、参考にして補足する <p>4 祭りの改善案と持続可能な開発目標を関連づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善案を17の項目と関連付け整理し、改善案が七夕と国際社会にどんなメリットがあるかを整理する。 ・それを証明するために、どんな資料が必要かも考える。 <p>5 グループの考えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な七夕祭りについて、持続可能な未来を関連づけて提案する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消・エシカル消費・SDGs未来都市・「ノーマライゼーションという言葉の知らない町」等の既習の視点を基に考える ・特に次の視点から考えを深める ①物販（方法・販売する商品について） ②ゴミについて・山車飾りの処分 ③交通手段 ④地元の他の観光地との連携 ⑤多様な立場の人が楽しめること ⑥地元の資源（人・物・場所等）を活かす <p>●地域の取り組みと持続可能な未来を関連づけて考え、改善策を提案することができたか。</p> |
| 終末 15分 | <p>6 まとめ</p> <p>(1) 提案を基に自分の考えをまとめる。</p> <p>(2) 教師の話聞いて、考えを深める。</p> <p>7 ふりかえり</p> <p>振り返り用紙に記入する。</p> | <p>資料3：東京2020の取り組み</p> <p>振り返り用紙</p> |